

新内容項目対応版

■学習指導要領準拠■

[ゆたかな心—新しい道德—]指導資料

道德の年間指導計画例

●「『私たちの道德』との関連」付き●

6年

株式会社光文書院

本書の使い方〔先生がたへ〕

1. 「主題のねらい」を具体的に示し、【評価の観点】としても活用できるよう記しました。
 - 心のあり方だけではなく、行動力の育成も視野に作成しています。
 - 総括的な「◎ねらい」をさらに分析し、具体的な「*ねらい」によってわかりやすく示しました。
 - 具体的な「*ねらい」は、
 - ・どのような感動を期待するか
 - ・どのような道徳的理解や判断力を期待するか
 - ・どのような自分のよさを期待するか
 - ・どのような生き方（実践意欲や態度）を期待するかという観点に基づいて表記しています。
 - 「*ねらい」の表現方法も、評価の観点としての活用をふまえ「……心が動く」「……わかる」「……しようとする」「……課題をもつ」など、子どもの立場に立った表記をしています。
2. 「展開の概要」を多様化しました。
 - 道徳の授業は、さまざまな学習活動によって成り立っていますので、発問の乱発を避け、より具体的な授業展開を描くことができるよう、多様な活動を示しました。
 - “授業は特定の教師と特定の子どもによってつくられる作品である”という立場に立ち、発問も子どもの違いによって変わるものとしてとらえ、授業構想を示しています。
 - 「展開の概要」をもとにして、「子どもの実態に即した発問」を工夫し授業を行うことを想定した展開になっています。
3. 「関連・連携」を強化しました。
 - 道徳教育は、道徳の時間を要として、学校における全教育活動における道徳教育と関連を図るとともに、家庭や地域社会における道徳教育と連携をとって行うものであるという文部科学省の考えに基づいて、関連や連携例に力を入れて示しました。
 - これを受けて、授業後の子どもの活動を促す「発展」を指導書（研究編）に提示し、児童書の最後にその内容を子ども向きの表現で示しています。
4. 『ゆたかな心』と『私たちの道徳』のそれぞれの特長を生かして、より効果的に活用するための計画案を示しています。
 - 『私たちの道徳』と併用しやすい工夫を加えました。
 - 道徳授業を深める『ゆたかな心』と、それを広げる『私たちの道徳』の効果的な関連方法を表記する欄を設けました。
 - 『私たちの道徳』の読み物資料を計画例に加え『ゆたかな心』の資料と選択できるよう配慮しました。

※2016年度改訂版『私たちの道徳』で追加された新内容項目の資料との対応表です。必要に応じて、ご利用ください。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】真海のチャレンジ—佐藤真海—〔主題名／生きる喜びを感じて〕〈よりよく生きる喜び〉				
月				<p>【導入】P190・P191 を活用して、自分が「弱いな」、「苦しいな」と思ったときのことを考えさせる。</p> <p>【発展】P192・P193 を読んだり記入したりして、自らがよりよく生きるために大切にしたいことについて考えさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
1. よみがえった速球 ―藤川球児―【主題名／自分を生かす道】〈個性の伸長〉				
4月	◎自分の特徴を知って、悪いところを改め、よいところを積極的に伸ばす。 *だれにでもよいところと悪いところがあることがわかる。 *よいところをうまく伸ばしていけば、悪いところが隠れていくことがわかる。 *自分のよいところを、さらに伸ばしていこうとする。	1 自分の特徴について考える。 2 資料『よみがえった速球』を読み、藤川選手が自分の長所をどのようにして成功につなげたかを考える。 3 長所について考える。	①道徳の授業……資料『よみがえった速球』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……自分自身を見つめ直し、長所を生かす方向を考えさせる。 ③学級活動……「友だち紹介カード」をもとに自分では気づかない面を知るようにさせる。	【導入】P50を活用し、自分の特徴について考えさせる。 【展開後段】P51を活用して、『よみがえった速球』で学んだことをもとに、自分の長所を見つけさせる。 【終末】P52・P53を活用して、自分をさらに輝かせるにはこれからどうしたらよいか考えさせる。
2. 温かいおまんじゅう【主題名／本当の礼儀とは】〈礼儀〉				
4月	◎礼儀の意味がわかり、礼儀正しく真心をもって接しようとする気持ちをもつ。 *主人公の言動から何が失礼だったかわかる。 *人と人との心をつなぐ礼儀の意味がわかる。 *日常生活で、礼儀正しく真心をもって接しようとする気持ちをもつ。	1 「礼儀」とは何か話し合う。 2 資料『温かいおまんじゅう』を読み、礼儀のもつ意味について考える。 3 日常生活を振り返り、自分たちの礼儀について話し合う。 4 今日の学習から礼儀について考えたことをワークシートにまとめ、発表しあう。	①道徳の授業……資料『温かいおまんじゅう』を読んで、礼儀の持つ意味について考えさせる。〔本時〕 ②日常生活……自分たちの挨拶や感謝の言葉など礼儀について見つめ直させる。心のこもった礼儀になるよう、朝の会や帰りの会などでよくできている人を紹介し合う。 ③家庭との連携……家庭での挨拶や感謝の言葉などについて、大人がモデルとなるように協力依頼し、共同で実践を進める。	【終末】P57を活用し、『温かいおまんじゅう』で学んだことをもとに礼儀について学んだことをまとめさせる。 【発展】P58・P59を活用し、日本の伝統的な礼儀に込められた心についての学びを広げさせる。
3. 陽子、ドンマイ！【主題名／力を合わせて】〈友情、信頼〉				
4月	◎男女が尊重し合いながら協力し合っているようにしようとする。 *夢を目指すもの同士が、互いに協力し合い、友情を深めていくことのすばらしさに感動する。 *男であっても女であっても、目標をもって生きていることには変わらない点に着目し、男女が協力し合いながら生きていくことのよさがわかる。 *男女が、お互いのよさを発揮し合い、協力していこうとする。	1 主人公、陽子の気持ちとまわりの男の子の陽子への対応に注目しながら、資料『陽子、ドンマイ！』を読む。 2 「陽子が生き生きとしているのはなぜか」について話し合う。 3 自分の思いを実現させていく陽子の姿について話し合う。 4 男女がともに協力して生きている話を聞き、これからの自分の生き方について考える。	①道徳の授業……資料『陽子、ドンマイ！』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②朝の会など……男女ともに協力し合い、よい関係をつくっていくために大切なことをふだんの暮らしの中で考えさせていく。そして、わかったことを紹介させる。	【展開後段】P75を活用して、男女の友情について考えたことをまとめさせる。 【発展①】P74を活用して友達とのつきあい方で大切にしたいことをまとめさせる。 【発展②】P76～P79を活用して、友達・友情に関する考えを広げさせる。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
4. 班長になってよかったな〔主題名／責任を果たす喜び〕〈よりよい学校生活，集団生活の充実〉				
5月	<p>◎集団の中における自分の役割を自覚し，主体的に責任を果たそうとする。</p> <p>* 集団の中にはそれぞれの役割があり，集団の中における自分の役割を自覚し，一人一人が責任を遂行することによって，集団の目的が達成されることがわかる。</p> <p>* 自分が所属する集団において，自分の役割を果たし，集団の役に立てたという経験が，自分自身の喜びや成長，そしてより主体的な集団での役割の自覚につながることをわかる。</p> <p>* 自分の所属する集団において，自分の役割を自覚し，責任を果たそうとする。</p>	<p>1 自分が所属している集団を想起する。</p> <p>2 資料『班長になってよかったな』を読み，「ぼく」の気持ちの変容の理由と心情を考える。</p> <p>3 困難にあいながらも役割や責任を果たしている友達について話し合い，認め合いの心を広げる。</p> <p>4 過去の6年生の作文を読み，リーダーとしてのさまざまな経験を通して，自分自身が成長していくことに気づく。</p>	<p>①道徳の授業……資料『班長になってよかったな』を読んで，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……下級生や先生方，保護者などに責任を果たした場面を外部評価してもらい，活動への意欲づけとさせる。</p>	<p>【導入】P140・P141を活用して，所属している集団での役割について考えさせる。</p> <p>【終末】P142・P143を活用して，『班長になってよかったな』で学んだことをもとに，自分の集団での役割をまとめさせる。</p>
【私たちの道徳】小川笙船〔主題名／自分の役割を自覚して〕〈よりよい学校生活，集団生活の充実〉				
5月				<p>【導入】P140・P141を活用して，所属している集団での役割について考えさせる。</p> <p>【終末】P142・P143を活用して，『小川笙船』で学んだことをもとに，自分の集団での役割をまとめさせる。</p>
5. 本屋のお姉さん〔主題名／真心をこめる〕〈正直，誠実〉				
5月	<p>◎誠実に，明るい心で楽しく生活しようとする。</p> <p>* 誠実（まじめ）とは，真心をこめて相手のために尽くすことであり，誠実さは心を明るくすることがわかる。</p> <p>* これまでの生活を振り返り，自分もまじめに取り組んできたことがあることを自覚する。</p> <p>* まじめさを誇りに感じ，明るい心で生活しようという意欲をもつ。</p>	<p>1 「誠実（まじめ）」という言葉から連想することや，まじめに取り組んだとき，または，取り組めなかったときの気持ちを思い出す。</p> <p>2 資料『本屋のお姉さん』を読んで，どうすれば明るい心でいられるかを考える。</p> <p>3 まじめに取り組んだり，真心をこめて行ったりしたことが，これまでの自分にもあったことを思い出し，そのことを書いたり友達に話したりする。</p>	<p>①道徳の授業……資料『本屋のお姉さん』を読んで，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②特別活動……委員会や当番活動などで，自分の活動を振り返るときに，自分の役割を意識して取り組んだことをカードに書かせたり，発表させたりする。</p> <p>③日常生活……学校生活の中で見られた，自分や友達の誠実な言動を紹介し合わせる。</p>	<p>【導入】P38・P39を活用して，誠実の意味について考えさせる。</p> <p>【終末】P41を活用して，『本屋のお姉さん』で学んだことをもとに誠実な生き方について考えたことをまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
6. 地球があぶない〔主題名／自然を守る〕〈自然愛護〉				
5 月	<p>◎自然破壊の現状を理解し、自分たちに何が できるかを考え、自然を大切にしようとする。</p> <p>*自然破壊の現状を見て、これではいけないという問題意識をもつことができる。</p> <p>*自然を守るために、世界の人々がいろいろな努力をしていることを理解する。</p> <p>*自然を守るために、自分たちには何が できるかを考え、実行しようとする。</p>	<p>1 環境破壊のようすについて話し合う。</p> <p>2 世界の人々は、この問題をどのように考え、どのように解決しようとしているかについて話し合う。</p> <p>3 環境問題について、自分たちにできることは何かについて話し合う。</p> <p>4 人間と自然との調和について、教師の話聞く。</p> <p>5 これからの活動について話し合う。</p>	<p>①日常生活………揭示係の児童に依頼して、地球破壊のニュースを背面黒板に掲示させ、自然破壊に関する関心を喚起させておく。</p> <p>②道徳の授業………資料『地球があぶない』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③日常生活………地球破壊のようすを調べさせて、学校全体の掲示板に掲示するように指導する。</p> <p>④特別活動………自然を守るために自分たちにできることは何かについて話し合わせ、実行させる。</p>	<p>【展開後段】P112を活用して、絶滅危惧種について知り、環境保全への意識を高めさせる。</p> <p>【終末】P110・P111を活用して、人間と自然の調和のために自分たちができることをまとめさせる。</p> <p>【発展】P113を活用し、自然を愛し、大切にしたい人たちについて調べさせる。</p>

重点主題

7 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」

8 いらなくなったきまり

▶ 重点主題名／きまりの意義〔きまりの意義〕

【重点主題のねらい】

◎法やきまりの意義について理解し、お互いが気持ちよく生活できるようにする。

*きまりの必要性について理解する。

*きまりはお互いの心の中にあるものだということがわかる。

*お互いが気持ちよく生活するために、よく考えて生活しようとする。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

7. 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」〔主題名／ルールとマナー〕〈規則の尊重 / 善悪の判断, 自律, 自由と責任〉

5月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○きびしい罰則があると、きまりを守ろうとする人は増えるが、罰則でみんなをしぼることは望ましい姿ではないことがわかる。</p> <p>○とがめられるからきまりを守るのではなく、みんなが気持ちよく生活するためにきまりを守ろうとする。</p>	<p>1 学校のきまりについて守れているかを話し合う。</p> <p>2 資料『マナーからルールへ、そしてマナーへ』を読んで、きまりについて考える。</p> <p>3 きまりは何のためにあるのかを考える。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>いっこうになくならないばこのポイ捨てに過料を設けたら、ポイ捨てが激減したという話である。やはり罰則がなければきまりは守れないと考えがちであるが、パトロールの行き届かないところではやはりポイ捨てがなくなるという事実を取り上げて、はたしてこれでいいのかという問題意識をもたせる学習が可能になる。</p>	<p>【導入】 P120・P121 を活用し、よりよい社会づくりへの関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】 P122 を活用して、『マナーからルールへ、そしてマナーへ』と併せてきまりやマナーについての考えを深めさせる。</p> <p>【終末】 P123 を活用して、きまりやマナーを守ることに大切さについて考えをまとめさせる。</p>
----	--	--	---	--

8. いらなくなったきまり〔主題名／いらなくなったきまり〕〈規則の尊重 / 善悪の判断, 自律, 自由と責任〉

6月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○みんなが気持ちよく生活するためには、他者の権利も大切にしなければならないことがわかる。</p> <p>○きまりによって行動するのではなく、公德心を中心に考えて行動しようとする。</p>	<p>1 前時のふり返りをする。</p> <p>2 資料『いらなくなったきまり』を読んで考える。</p> <p>3 みんなが気持ちよく生活するために、必要なことは何かを話し合う。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>自分たちで考えて始めた学級文庫だが、しだいに整理や本の管理が乱れていく。そこで、きまりが必要ではないかと話し合うが意見がまとまらない。ところが次の日、きちんと整理されていた。だまって整頓を始めた子どもの行動から、きまりをつくらなくても「きまりはお互いの心の中にあるものだ」ということに気づかせることのできる資料である。</p>	<p>【終末】 P123 を活用して、『いらなくなったきまり』で学んだことをもとにして、きまりやマナーを守ることの大切さについて考えをまとめさせる。</p> <p>【発展】 P126～P129 『きまりは何のために』を活用して、権利と義務についての考えを広げさせる。</p>
----	---	---	---	---

【私たちの道徳】きまりは何のために〔主題名／自分の役割を自覚して〕〈規則の尊重〉

6月				<p>【導入】 P120・P121 を活用し、よりよい社会づくりへの関心をもたせる。</p> <p>【終末】 P124・P125 を活用して、『きまりは何のために』で学んだことをもとに、権利と義務について考えを広げさせる。</p>
----	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

9. 妹の手紙〔主題名／一生けん命に生きる〕〈生命の尊さ〉

6 月	<p>◎どんな人でも命の重さは同じであることを知り、自他の生命を尊重し、力強く生きようとする。</p> <p>*生命は、何ものにもかえがたい大切なものであることを知る。</p> <p>*そのように大切な生命は、自分の中にも、他者の中にも等しく一つだけ存在することを実感する。</p> <p>*生命を大切にすることは、その生命を輝かせてよりよく生きることにつながることを理解し、そうしようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料『妹の手紙』を読んで、話のあらましをつかむ。 2 『妹の手紙』を人間の命という観点から話し合う。 3 子どもを生んだ妹は、自分の子どもに命の尊さについてどんな話をしていと思うかについて話し合う。 4 今の自分の命に対する考えは、妹のどのときの考えに近いかについて話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『妹の手紙』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……星野富弘さんの美術館へ見学に行ったり、詩集を読んだりさせて、星野富弘さんの生き方に興味をもったり感動したりする体験を共有するように指導する。 ③国語……国語で命に関する詩を書かせたり、命に関する本を読ませたりする。 	<p>【導入】P98を活用して、命について関心をもたせる。</p> <p>【終末】P102・P103を活用して、『妹の手紙』で学んだことをもとに、自分を振り返らせたり、考えをまとめさせたりする。</p> <p>【発展】P104～P107『その思いを受けついで』を活用して、受けついで命を大切にしようとする思いを広げさせる。</p>
--------	---	---	---	---

【私たちの道徳】その思いを受けついで〔主題名／自他の生命を尊重して〕〈生命の尊さ〉

6 月				<p>【導入前】P102を活用し、家族に取材させる。</p> <p>【導入】P98を活用し、自分の命について関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P103を活用し、自分の成長をまとめさせる。</p> <p>【終末】P100・P101を活用し、『その思いを受けついで』で学んだことをもとに、生命についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P108・P109『命でんでんこ』を活用して、「生命」についての考えを広げさせる。</p>
--------	--	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

10. 鑑真和上【主題名／目標をもってやりぬく】〈希望と勇気、努力と強い意志〉

6 月	<p>◎より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないでやり遂げようとする。</p> <p>*多くの困難を乗り越えて、自分の役割を果たそうとする鑑真の強い思いに心が動く。</p> <p>*最後までやり遂げようとする思いの奥には、自分の役割についての強い使命感があることがわかる。</p> <p>*より高い目標を見つけ、やり遂げていこうとする。</p>	<p>1 鑑真について写真や年表などを使い、簡単に説明を聞く。</p> <p>2 大きな困難がありながらも日本に渡航しようとした鑑真の思いを考えながら、資料を読んで話し合う。</p> <p>3 鑑真の生き方から学んだことを紹介し合う。</p>	<p>①学級活動……学年当初に立てた個人の目標や係の仕事や委員会の仕事を振り返らせる。</p> <p>②道徳の授業……資料『鑑真和上』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③読書活動・総合的な学習の時間など……文献などで鑑真について調べ、志を貫こうとする鑑真の思いに迫ることにより、自分の生き方を見つめる契機にさせる。</p>	<p>【終末】P18・P19を活用して、『鑑真和上』で学んだことをもとに、自分の目標を見つめ直し、これからどのようにしたらよいか考えさせる。</p> <p>【発展】P20を活用して、目標に向かって努力を重ねた人たちについて関心をもたせ、P21の自分が学びたい人物について調べ、まとめさせる。</p>
--------	--	---	--	---

【私たちの道徳】ヘレンと共に—アニー・サリバン—【主題名／希望と勇気をもってくじけずに】〈希望と勇気、努力と強い意志〉

6 月				<p>【展開後段・終末】P18・P19を活用して、『ヘレンと共に』で学んだことのもとに、自分の目標を見つめ、これからどのようにしたらよいか考えさせる。</p> <p>【発展①】P20を活用して、目標に向かって努力を重ねた人たちについて関心をもたせ、P21の自分が学びたい人物について調べまとめさせる。</p> <p>【発展②】P26・P27を読み、夢に向かって努力する大切さについて考えさせる。</p>
--------	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

11. ぞうきんがけ【主題名／受けつがれる心】〈よりよい学校生活，集団生活の充実〉

6月	<p>◎最高学年として責任をもって学校の仕事をやり遂げることに喜びを感じ、それを他の学年にも伝えていこうとする。</p> <p>*小さく目立ちにくいことであっても、学校を支えている自分に誇りを感じることができる。</p> <p>*学校の仕事の中で、自分の役割を果たそうと熱心に取り組む姿が他の学年の仲間の心を打つことに気づく。また、自分にも上級生から受け継いだよい心があることに気づく。</p> <p>*自分の取り組みの中にも、同じことがないかを見つめ、誇りをもって学校を自分の手で作っていく意欲をもつことができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「主人公の気持ちを変えたものは何かについて考えよう。」という意識をもって資料『ぞうきんがけ』を読む。 2 資料『ぞうきんがけ』を読んで、話し合う。 3 香緒里さんの気持ちを変えた石井さんについて話し合う。 4 卒業生が残した文集や詩などを紹介し、それらに込めた卒業生の心について話し合う。 5 自分たちにもできることはないかと、働きかけてみる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『ぞうきんがけ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……責任をもってやり遂げようとする動きを教師がとらえ、励ますことを通して、学校の文化を自分の手で作っていくようとする意欲を高めさせる。 ③読書活動など……上級生が残した作文・詩や資料を読ませ、上級生の心持ちを感じさせる。 	<p>【展開後段】P160・P161を活用し、『ぞうきんがけ』で学んだことをもとに、自分の学校のよさについて考えさせる。</p> <p>【終末】P162・P163を活用し、校風をつくるのは自分たちであるという自覚をもたせ、学校をよりよくするにはどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>【発展】P163を活用し、校歌や校章の意味・由来を調べ、まとめさせる。</p>
----	--	--	--	---

12. 町おこしプラン【主題名／町おこし】〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度〉

7月	<p>◎郷土やわが国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。</p> <p>*自分の住んでいる町や地域のよさ、特色について考えることができる。</p> <p>*町や地域についてのよさや特色を調べ、知るとともに町に対する愛着をもつ。</p> <p>*「自分たちの町おこしプラン」を考えることで積極的に地域にかかわっていかうとする気持ちをもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料『町おこしプラン』を読んで、話し合う。 2 「自分たちの町おこしプラン」を考える。 3 47ページの観点を参考に、手順にしたがって自分たちの町や地域を見直す。 4 「自分たちの町おこしプラン」(第一次案)を考え、発表し合う。 5 自分たちで大切にしていきたい町のよさについて話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『町おこしプラン』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②社会科……自分たちの地域の歴史について調べ、まとめさせる。 ③総合的な学習の時間……グループごとに自分たちの町について調べ、「町おこしプラン」を作成し、発表し合わせる(子どもたちが考えたプランを実際に市町村に提案するというアプローチもある)。 	<p>【導入】P164・P165を活用し、日本の伝統文化や自分のふるさどについて関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P166～P169を活用して、「自分たちの町おこしプラン」の参考にさせる。</p> <p>【発展】P170～P173『人間をつくる道』を活用し、郷土や国を愛する視点を広げる。</p>
----	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】人間をつくる道—剣道—〔主題名／郷土や国を愛する心を〕〈伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度〉				
7月				<p>【導入】P164・P165を活用し、日本の伝統や文化について関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P166～P169を活用し、『人間をつくる道』で学んだことをもとに、日本の伝統・文化のよさについて考えさせる。</p> <p>【発展】P174・P175を活用し、国家や社会の一員としての自覚をもたせる。</p>

13. きみの声が聞きたい〔主題名／やりとげる心と力〕〈真理の探究〉

7月	<p>◎人には、新しい考えを追い求め、あきらめずに探し続けることで何かを成し遂げることができる力があることに気づき、目標に向かって努力しようとする意欲と希望をもつ。</p> <p>*目標をもって次々と新しい世界を切り開いていく人の生き方に接して、すばらしいと感動できる。</p> <p>*神谷さんのように、人にはあきらめずに何度も失敗と工夫を繰り返すことで何かを成し遂げることができる力があることがわかる。</p> <p>*そのような力は自分にもあり、自分を伸ばす大事な力であることに気づく。</p> <p>*自分にできること、したいことを考え、それに向かって努力しようという意欲をもつ。</p>	<p>1 「がんばる」とはということかについて考える。</p> <p>2 「資料の中にどのようながんばりがあるだろう」という観点で資料を読む。</p> <p>3 神谷さんはどうしてあきらめずにがんばり続けることができたのかについて考える。</p> <p>4 あきらめずに続けることの「よさ」を、自分の体験と重ねて考える。</p> <p>5 「がんばる」ということのイメージをもう一度考え直してみる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『きみの声が聞きたい』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……自分の夢や目標をもち、それに向かって努力させる。</p> <p>③読書活動など…夢に向かって努力し、達成した人物の伝記を読ませる。</p> <p>④総合的な学習の時間……自分で決めたねらいを達成するために、活動を続けさせる。</p>	<p>【終末】P44・P45を活用して、『きみの声が聞きたい』で学んだことをもとに、新しいものを追求する意欲をもたせる。</p> <p>【発展①】P42・P43を活用して、便利なことができたきっかけなどを調べさせる。</p> <p>【発展②】P46～P49『天からの手紙』を活用して、学んだことを広げさせる。</p>
----	--	---	---	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】天からの手紙〔主題名／進んで新しいものを求めて〕〈真理の探究〉				
7月				<p>【終末】P42・P43を活用して、『天からの手紙』で学んだことを広げさせる。</p> <p>【発展】P44・P45を活用して、新しいものを求めた人たちを知り、考えたり工夫したりしようとする意欲をもたせる。</p>
14. 規則正しい生活はすべての基本〔主題名／規則正しい生活〕〈節度、節制〉				
9月	<p>◎自分の生活を見直し、規則正しい生活をしようとする。</p> <p>*自分も含め、社会全体が夜型になり、高学年になって、就寝時刻が遅いと疲れを感じることに気づく。</p> <p>*自分の生活をよりよくするために、規則正しい生活をするのが大切であることを理解する。</p> <p>*みずからの生活を振り返り、改善しようとする。</p>	<p>1 保健学習で自分の生活パターンを表に書き、まとめたものを見る。</p> <p>2 資料『規則正しい生活はすべての基本』を読み、話し合う。</p> <p>3 健康的な生活を送るためには、どのような生活パターンが望ましいか、表に書き直す。</p> <p>4 規則正しい生活を送っている有名人のエピソードを聞く。</p>	<p>①各教科など……家庭科や保健学習を通して、規則正しい生活の必要性やその方法について理解させ、実践させる。</p> <p>②道徳の授業……資料『規則正しい生活はすべての基本』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③日常生活……自分の生活パターンを見直す活動をさせる。</p>	<p>【導入】P10・P11を活用して、基本的な生活習慣を見直すきっかけをもたせる。</p> <p>【展開後段】P12～P14を活用して、『規則正しい生活はすべての基本』で学んだことをもとに、自分たちの生活の見直しをさせる。</p> <p>【終末】P15を活用して、節度ある生活をするにはどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>【発展】P16・P17を活用して、継続的に自分の生活を振り返らせる。</p>
15. 海に生きるおじいちゃん〔主題名／人も自然の一員〕〈自然愛護〉				
9月	<p>◎自然の偉大さを知り、自然環境を大切にしようとする。</p> <p>*人間は、自然の一員であることに気づく。</p> <p>*人間が、自然を守るという立場ではなく、人間は、自然の中の一員であるという立場で自然にかかわっていくことの大切さがわかる。</p> <p>*身のまわりにある自然に対してどのようにしてかかわっていけばよいのかを考え、実行しようとする。</p>	<p>1 総合的な学習の時間の中で「地球環境」について調べたことを発表したり聞いたりして、自然環境に関して問題意識をもつ。</p> <p>2 「人間は自然とどのようにかかわっていけばよいのか」という問題意識をもって、資料『海に生きるおじいちゃん』を読む。</p> <p>3 人間は、自然とどのようにかかわっていけばよいのかについて話し合う。</p> <p>4 自然界の一員である人間として、自分のあり方を考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『海に生きるおじいちゃん』に出会い、自然と人間が一体の関係であることに気づかせる。〔本時〕</p> <p>②日常活動……「人間も自然の一員」という考えをもって、ニュースや新聞を見て、新たに発見したことを綴り、仲間に発信させる。</p>	<p>【導入】P110を活用して、自然と人間の生活のかかわりについて関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P111を活用して、『海に生きるおじいちゃん』で学んだことをもとに、人間と自然のかかわりかたについて自分の考えをまとめさせる。</p> <p>【発展】P113を活用して、自然を大切にしたい人物について、調べてまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
16. 夢に向かって ―三浦雄一郎―【主題名／夢に向かって】〈希望と勇気、努力と強い意志〉				
9月	<p>◎夢をもち、目標を立てることによってやる気や不とう不屈の心や自信等がわきあがるのがわかり、自分も実践していこうとする。</p> <p>*よりよい自分に向けて夢をもつことによって、暮らし方が変わることには驚きを感じる。</p> <p>*よりよい自分に向けて目標を立てることによって、やる気や不とう不屈の心が生まれ、それが自信となって自分を支えていくことがわかる。</p> <p>*そのような心のはたらきは、自分にもあることに気づき、夢を抱いて努力していこうとする。</p>	<p>1 「三浦雄一郎さんから何を学べるか」を考えながら、資料『夢に向かって』を読む。</p> <p>2 自宅近くの山さえ登れなくなっていたときの三浦さんの心を読み取って、発表する。</p> <p>3 三浦さんが、再び夢を追い始める「もと」となる心を探して、発表する。また、その心は自分にもあることを見つける。</p> <p>4 三浦雄一郎さんの生き方を自分の暮らしにどのように生かしていくのかを各自がまとめ、発表する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『夢に向かって ―三浦雄一郎―』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②総合的な学習の時間など……三浦雄一郎さんの夢に向かう姿勢に心ひかれ、目標に向かって生きることを再認識し、自分の夢の実現のために努力していこうと実践させる。</p>	<p>【導入】P18を活用し、以前書いた自分の夢を確認する。</p> <p>【発展①】P20を活用し、目標に向かって努力した人たちを知り、関心をもたせ、P21を活用して、調べたい人物をまとめさせる。</p> <p>【発展②】P26・P27を活用し、夢に向かって努力する大切さについて考えさせる。</p> <p>【発展③】P22～P25を活用して、目標に向かって努力しようとする気持ちをもたせる。</p>
【私たちの道徳】天からの手紙【主題名／進んで新しいものを求めて】〈希望と勇気、努力と強い意志〉				
9月				<p>【終末】P42・P43を活用して、『天からの手紙』で学んだことを広げさせる。</p> <p>【発展】P44・P45を活用して、新しいものを求めた人たちを知り、考えたり工夫したりしようとする意欲をもたせる。</p>
17. 自然のゆりかご【主題名／あたえられた命】〈生命の尊さ〉				
9月	<p>◎自分や他者の命を大切に生きていこうとする。</p> <p>*エゾマツの一生から、生命の不思議さに関心を持ち、感動する。</p> <p>*まっすぐに一列になって立っているエゾマツの秘密から、命には受け継がれていくという特徴があることがわかる。</p> <p>*生命の長い間の営みの中で与えられた自分の生命を大切にしようとする。</p>	<p>1 原生林について知る。</p> <p>2 資料『自然のゆりかご』を読んで、主人公の感動を追体験する。</p> <p>3 主人公の「体がふるえてきた」という言葉について考える。</p> <p>4 このエピソードから自分の生活で大切にしたいことを抜き出す。</p> <p>5 命の大切さを自分なりの言葉でまとめる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『自然のゆりかご』を読んで、命の尊さについて考えさせる。〔本時〕</p> <p>②学級活動……生命の尊さについて知ることができるエピソードを紹介し合わせる。</p> <p>③日常生活……自分の命や他人の命を大切にしようとする態度で生活させる。</p> <p>④読書活動……「命のつながり」について書かれた本や詩などを読んで紹介し合わせる。</p>	<p>【終末】P100・P101を活用して、「命のつながり」について考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P102・P103を活用し、受けついだ自分の命について考えたことをまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】その思いを受けついで〔主題名／自他の生命を尊重して〕〈生命の尊さ〉				
9月				<p>【導入前】P102を活用し、家族に取材させる。</p> <p>【導入】P98を活用し、自分の命について関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P103を活用し、自分の成長をまとめさせる。</p> <p>【終末】P100・P101を活用し、『その思いを受けついで』で学んだことをもとに、生命についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P108・P109『命でんでんこ』を活用して、「生命」についての考えを広げさせる。</p>
18. あやまってすむことじゃない〔主題名／広い心で〕〈相互理解，寛容〉				
10月	<p>◎謙虚な心を持ち、広い心で他者の失敗や過ちを許すことができる。</p> <p>*失敗を犯した店員を許すたけしによさを感じる。</p> <p>*心から謝った経験を思い起こし、相手を許す心が自分にもあることがわかる。</p> <p>*人は失敗することがあることを自覚し、広い心で人と接していこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 たけしの見方の変化に着目して、資料『あやまってすむことじゃない』を読む。 2 「あやまってすむことじゃない」とつぶやくたけしの思いを確かめる。 3 弟の言葉が胸につきささった理由について考える。 4 なぜ店員さんのことを許せるようになったのかを話し合う。 5 相手を広い心で許していこうとすることについて、これからの自分について考える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『あやまってすむことじゃない』を読んで、話し合う。 〔本時〕 ②朝の会など……相手の過ちを許すことによって、どのような心の成長を感じたか語り合い、広い心で人と接していこうとする意欲を確認し合う。 	<p>【終末】P80・P81を活用し、『あやまってすむことじゃない』で学んだことをもとに、広い心について考えをまとめさせる。</p> <p>【発展】P82・P83『銀のしょく台』を読み、考えを広げさせる。</p>
【私たちの道徳】ブランコ乗りとピエロ〔主題名／けんきょに、広い心をもって〕〈相互理解，寛容〉				
10月				<p>【終末】P80・P81を活用し、『ブランコ乗りとピエロ』で学んだことをもとに、心のもち方についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P82・P83を活用し、『銀のしょく台』に関心をもたせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	--------------

重点主題	<p>19 お茶の心</p> <p>20 いちばん近い自然・里山</p>	<p>▶ 重点主題名／日本の伝統・文化を受けつぐ 〔集団や社会の一員として〕</p>
<p>【重点主題のねらい】</p> <p>◎日本独自の伝統文化や知恵，自然などのよさを知り，社会の一員として自分にできることは何かを考え，継承していこうとする。</p> <p>* 茶道を通して伝承されてきた文化が今の日本を支えていることがわかる。</p> <p>* 里山などの自然の大切さと，それを守ろうとする人々の思いがわかる。</p> <p>* 日本の伝統を守ることの大切さがわかり，自分には何ができるかを考え，実践する。</p>		

19. お茶の心〔主題名／もてなす心〕〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度 / 礼儀〉

10 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統文化の大切さを知り，受け継いでいこうとする。 ○伝統文化には，自分たちの生活のもととなっていることがたくさんあることに気づく。 ○その〈もの〉の歴史や成り立ち，先人たちの思いなどを知ること，よさがわかる。 ○国家の一員として，その〈もの〉をいかに守り，継承し，広めていくかを考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 お茶とわたしたちの生活について考える。 2 資料『お茶の心』を読み，お茶の心が日本人の生活にどのような影響を与えているかを考える。 3 「おもてなしの心」に代表される，日本古来の文化や知恵にはどのようなものがあるだろうかという関心・興味をもつ。 <p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>ふだん何気なく触れている日本文化。お茶もそのひとつである。茶道に象徴される，相手に対する気づかいを形に表した日本文化のよさを再認識し，それらを守り受け継ぐ努力をしている人々の思いに共感することができる。</p>	<p>【導入】 P164・P165 を活用し，日本の伝統文化や自分のふるさとについて関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】 P166～P169 を活用して，『お茶の心』で学んだことを広げさせる。</p> <p>【発展①】 P56～P59 を活用して，伝統作法にこめられた心について考えを広げさせる。</p> <p>【発展②】 P170～P173 『人間をつくる道』を活用し，郷土や国を愛する視点を広げる。</p>
---------	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
20. いちばん近い自然・里山〔主題名／自然とともに生きる心〕〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度 / 自然愛護〉				
10月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○里山などの自然環境のよさを知り，守り育てていこうとする意欲をもつ。 ○自然とともに生きる精神が今日まで続いていることに気づく。 ○知らず知らずのうちに自分たちもその精神を継承しており，それが今の日本を支えているということがわかる。 ○そのような日本の自然や知恵を大切に，継承していこうとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 日本の自然のよさについて話し合う。 2 自然とともに生きるとはどのようなことかという観点をもって資料『いちばん近い自然・里山』を読む。 3 「自然とともに生きる」ということの意味を考える。 4 前時の学習との接点を考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>古来より自然との共存を大切にしてきた日本人の知恵。そこにこそ，われわれが求める自然とのつき合い方のヒントが凝縮されている。その一つが里山である。その里山が，しだいに荒れてきてしまっている現実を知り，そこから自分にできることは何かと自問自答する。</p> <p>国家のためにと言うと大げさだが，そのような身近なところから自分の生き方や社会における役割について考えを広げていくことによって，子どもたちは社会の中の一員である自分を自覚するようになる。</p>	<p>【終末】 P110・P111 を活用して，人間と自然の調和のために自分たちができることをまとめさせる。</p> <p>【発展①】 P113 を活用し，自然を愛し，大切にしたい人たちについて調べさせる。</p> <p>【発展②】 P164～P169 を活用し，日本の伝統文化や自分のふるさとについて関心をもたせ，日本の伝統や心を受けつごうとする心をもたせる。</p>
【私たちの道徳】人間をつくる道—剣道—〔主題名／郷土や国を愛する心を〕〈伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度〉				
10月				<p>【導入】 P164・P165 を活用し，日本の伝統や文化や自分のふるさとについて関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】 P166～P169 を活用し，『人間をつくる道』で学んだことをもとに，ふるさとのよさや日本の伝統・文化のよさについて考えさせる。</p>
21. 花びんのある駅〔主題名／よりよい社会をつくるために〕〈規則の尊重〉				
10月	<p>◎公德心を持ち，社会の一員としてできることを進んで行おうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> *公共物や公共施設の使い方など，社会におけるマナーに関心をもつ。 *公共の場では，他者への気配りや思いやりが大切なことがわかる。 *社会の一員としての自覚を持ち，積極的に行動しようという意欲をもつ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 写真を見るなどして，学校や地域での公共のマナーについて感じていることや自分の考えを出し合う。 2 資料『花びんのある駅』を読んで，話し合う。 3 みんなの心に呼びさまされた気持ちとはどのようなものかを考える。 4 公共の場での自分の行動を振り返り，自分の中にあるよさを自覚する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『花びんのある駅』を読んでも，話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……学校や社会のきまりや公共のマナーが大切にされている場面を紹介させる。 ③特別活動……遠足や宿泊的行事などで公共施設を使うときに気をつけることを話し合わせる。 	<p>【導入】 P120～P122 を活用して，よりよい社会をつくるにはどうしたらよいか関心をもたせる。</p> <p>【終末】 P123 を活用して，『花びんのある駅』で学んだことをもとに，きまりやマナーを守ることの大切さについて考えをまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】きまりは何のために【主題名／法やきまりを守って】〈規則の尊重〉				
10 月				<p>【導入】P120・P121 を活用し、よりよい社会づくりへの関心をもたせる。</p> <p>【終末】P124・P125 を活用し、『きまりは何のために』で学んだことをもとに、権利と義務について考えを広げさせる。</p>
22. 松井さんの笑顔【主題名／感謝する気持ち】〈感謝〉				
11 月	<p>◎自分たちの生活は多くの人々に支えられていることを知り、感謝しそれに応えようとする。</p> <p>*自分たちの生活を支えてくれている人の存在に気づく。</p> <p>*自分たちの生活を支えてくれている人の気持ちを知り、感謝する気持ちをもつ。</p> <p>*自分たちの生活を支えてくれている人に感謝し、それに応えるための活動に意欲をもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 自分たちがしている「お世話活動」を思い出して、話し合う。 資料『松井さんの笑顔』を読んで、話し合う。 松井さんがいつも笑顔で自分たちの世話をしてくれている理由について話し合う。 自分たちがすべきことについて考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 道徳の授業……資料「松井さんの笑顔」を読んでも、自分たちを支えてくれている人について考えさせる。〔本時〕 日常生活……自分たちを支えてくれている人を探し、感謝の念をもたせる。 学級活動など…周囲の人から支えられている自分たちにできることを探して、話し合わせる。 	<p>【導入】P88 を活用して、支えてくれる人たちに関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P90 を活用し、『松井さんの笑顔』をもとに、支えてくれる人たちの思いについて考えさせる。</p> <p>【終末】P91 を活用し、支えてくれる人への感謝の思いに応えるために、どんなことができるか考えさせる。</p>
【私たちの道徳】黄熱病とのたたかい【主題名／支え合いや助け合いに感謝して】〈感謝〉				
11 月				<p>【導入】P88 を活用し、支えてくれる人がいるくらと、感謝の伝え方について考える。</p> <p>【終末】P88・P90 を活用し、『黄熱病とのたたかい』で学んだことをもとに、感謝の心についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P91 を活用し、支えてくれる人への感謝の思いに応えるために何ができるか考えさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
23. フーバーさん【主題名／世界の人々とともに】〈国際理解，国際親善〉				
11月	<p>◎外国の人々の文化をよく理解し，日本人としての自覚をもって，世界の人々とかかわっていかうとする。</p> <p>*スイスの歴史やおかれている状況についておおまかに知る。</p> <p>*お互いの国をよく知り，認め合うことが国際親善につながる事がわかる。</p> <p>*外国の歴史や文化について関心を持ち，世界の人々と積極的にかかわっていかうとする気持ちをもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 行ってみたい国とその理由について話し合う。 2 資料『フーバーさん』を読んで，話し合う。 3 自分が行ってみたい国についても一度考える。 4 外国や外国人について誤解や理解不足があったことはなかったかを話し合う。 5 外国の人々とつき合っていくためには，どのようなことが大切なのかについて話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『フーバーさん』を読んで，話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……「世界のニュース」などのコーナーを作り，新聞やテレビで知った世界の国々や人々の暮らしについて話し合わせる。 ③総合的な学習の時間……関心がある世界の国々と人々の暮らしについて調べ，発表し合わせる。 	<p>【導入】P176・P177 を活用して，世界の人々に関心をもたせる。</p> <p>【発展】P178・P179 を活用して，世界の人々と交流しようとする気持ちを広げさせる。</p>
【私たちの道徳】ペルーは泣いている【主題名／世界の人々とつながって】〈国際理解，国際親善〉				
11月				<p>【発展】P176～P179 を活用し，世界の人たちとかかわろうとする気持ちをもたせる。</p>
24. カッコいいお父さん【主題名／支え合う家族】〈家族愛，家庭生活の充実〉				
11月	<p>◎家族を支えるために働く父母の思いを理解し，敬愛するとともに自分も家族を支えていかうとする。</p> <p>*父母は，家族への愛情と社会人としての自覚や責任をもって働いていることがわかる。</p> <p>*家族のために働く父母を敬愛し，自分も支えになりたいという気持ちをもつ。</p> <p>*自分も家族の一員としてできることを考え，進んで実行していかうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「カッコいい人」とはどんな人なのかを話し合う。 2 資料『カッコいいお父さん』を読んで，話し合う。 3 家族を支えるために自分にできることを考え，話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『カッコいいお父さん』を読んで，支えあう家族について考えさせる。父の日，母の日，勤労感謝の日などにあわせて授業を行う等，位置づけを工夫する。〔本時〕 ②日常生活……家族の一員として自分にできることを考え，実践する。 ③家庭科の授業……家族を支えるために自分ができるようになったことを実践する。 	<p>【導入】P156・P157 を活用して，家族とのかかわりを思い起こさせる。</p> <p>【展開後段】P158 を活用して，『カッコいいお父さん』で学んだこととともに，家族に対して，自分ができようとする気持ちをもたせる。</p> <p>【終末】P159 を活用して，家族へのメッセージをまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
25. すあしにサンダルのお天使 – マザー・テレサ – 【主題名／愛をもって】〈勤労、公共の精神〉				
11月	<p>◎一人の活動が世界へ広がるすばらしさを知って、思いやりやさしさ、愛の心をもって、社会のために奉仕しようとする気持ちをもつ。</p> <p>*愛をもって人に接し、社会に役立つとして生きている人の生き方にふれて感動できる。</p> <p>*社会奉仕の活動の根底には“いてもたってもいられない心”があること、また、その心は自分にもあることがわかる。</p> <p>*社会の役に立つために自分にできることを見つけ、実際に進めていこうとする。</p>	<p>1 資料『すあしにサンダルのお天使』を読んで、マザー・テレサの足跡をたどる。</p> <p>2 「質素なことは美しいこと」というマザー・テレサの言葉に込められているものを考え、互いに検討し合う。</p> <p>3 マザー・テレサが残した言葉について、自分が考えたことを紹介する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『すあしにサンダルのお天使』を読んで、話し合わせる。 〔本時〕</p> <p>②日常生活……社会のために役立つ活動をしている人々にはどのような人がいるかを調べさせる。</p>	<p>【終末】 P154・P155を活用して、社会のために自分ができることをまとめさせる。</p>
26. 藤井駅のホームでのできごと 【主題名／親切を生むもの】〈親切、思いやり〉				
12月	<p>◎人には、困っている人を見たら助けずにはいられない心があることに気づき、困っている人を助けようとする。</p> <p>*困っている人に対して何かをしてあげたいという心をもっている人に感動することができる。</p> <p>*ほんとうの「思いやり」とは、相手の立場に立って、自分のことのように考え、「わが心を相手に遣るといふこと」であることがわかる。</p> <p>*人を助けることで、助けた相手が喜び、その相手の喜びが自分の喜びになることがわかる。</p> <p>*そのような思いやりの心が自分やまわりの人たちにもあることを実感し、そのような場面に出会ったとき、相手のために何らかの行動をとろうとする。</p>	<p>1 人が困っている場面を提示し、自分ならどうするか、声をかけられるかについて考える。</p> <p>2 資料『藤井駅のホームでのできごと』を読んで、「親切」とは何かについて考える。</p> <p>3 友達が、困っている人を見て親切にしてあげている場面を見たことがないかを話し合う。</p> <p>4 教師が見た学校での親切の場面を話したり、低学年からのお礼の手紙や声を讀んだりする。</p>	<p>①道徳の授業……資料『藤井駅のホームでのできごと』を読んで、話し合わせる。 〔本時〕</p> <p>②朝の会・帰りの会……日常生活にある「親切」を見つける活動を行わせ、朝の会や帰りの会で話し合わせることで、意識づけさせ、認め合いの心を広げさせる。</p>	<p>【導入】 P60・P61を活用して、親切にしたいとしても声をかけられない気持ちについて考えさせる。</p> <p>【展開後段】 P62・P63を活用し、『藤井駅のホームでのできごと』で学んだことをもとに思いやりの伝え方を考えさせる。</p> <p>【発展】 P65を活用して、定期的に「思いやり」を振り返らせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】最後のおくり物〔主題名／相手の立場に立って親切に〕〈親切, 思いやり〉				
12月				<p>【導入】P60・P61を活用し、「思いやり」について考えさせる。</p> <p>【終末】P62・P63を活用し、『最後のおくり物』で学んだことをもとに、思いやりの心の伝え方について考えたことをまとめさせる。</p> <p>【発展】P65を活用し、思いやりに関する記録をまとめさせる。</p>
27. 誠実な人 —吉田松陰—〔主題名／まっすぐな心〕〈正直, 誠実〉				
12月	<p>◎自分の心に忠実に行動し、前向きで明るい生活をしていこうとする。</p> <p>*誠実な人の生き方に共感し、感動することができる。</p> <p>*誠実な言動は、他人を動かし、信頼されるためにとても大切な要素であることがわかる。</p> <p>*誠実な人の生き方と自分の生き方を重ね合わせ、同じような心が自分にもあることがわかり、それを高めていこうとする。</p>	<p>1 「誠実だ」と思える人について想起する。</p> <p>2 資料『誠実な人 —吉田松陰—』を読んで、誠実に生きる意味について考える。</p> <p>3 「誠実に生きる」とはどういうことかを考える。</p> <p>4 自分の誠実な生き方について考える。</p>	<p>①社会科……………吉田松陰や歴史上の人物について学習し、その生き方や考え方についても調べたり話し合わせたりする。</p> <p>②道徳の授業……資料『誠実な人 —吉田松陰—』を読んで、自分の生き方について考えさせる。〔本時〕</p> <p>③読書活動……………「自分に誠実に生きた人」の話を探して読み、発表し合わせる。</p>	<p>【導入】P38・P39を活用して、誠実の意味について考えさせる。</p> <p>【終末】P40・P41を活用して、『誠実な人 —吉田松陰—』で学んだことをもとに、誠実な生き方について考えたことをまとめさせる。</p>
28. 森川君のうわさ〔主題名／かたよらない心〕〈公正, 公平, 社会正義〉				
1月	<p>◎だれに対しても偏見をもつことなく、公正・公平に接していこうとする。</p> <p>*相手によって態度を変えることは、だれにでも起こりうることに気づく。</p> <p>*そのような理不尽な差別や偏見をなくし、公正・公平を求めていくことの大切さを理解する。</p> <p>*公正・公平を希求する心が正義の実現には大切なことであると理解し、正義の実現に向けて努力しようとする。</p>	<p>1 資料『森川君のうわさ』を読んで、話し合う。</p> <p>2 いじめをなくすために必要な心のもち方について話し合う。</p> <p>3 友達を公正・公平に見た例を紹介する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『森川君のうわさ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……………仲間はずれや差別的な言動をきびしく見つめていく雰囲気をつくり、機会あるごとに話し合ったり、人権問題についての学習を深めたりさせる。</p> <p>③総合的な学習の時間……差別や偏見をなくすために努力している人々の活動を調べ、その人々の思いや願いに触れさせる。</p>	<p>【展開後段】P134を活用し、『森川君のうわさ』から学んだことをもとに、いじめを生む心について考えをまとめさせる。</p> <p>【終末】P135を活用して、いじめに対する自分の考えをまとめさせる。</p> <p>【発展】P132・P133を活用して、差別・偏見をなくす取り組みをしている人物を調べさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】愛の日記〔主題名／公正、公平な態度で〕〈公正、公平、社会正義〉				
1 月				<p>【展開後段】P134を活用し、『愛の日記』から学んだことをもとに、いじめを生む心について考えをまとめさせる。</p> <p>【終末】P135を活用して、いじめに対する自分の考えをまとめさせる。</p> <p>【発展】P132・P133を活用して、差別・偏見をなくす取組みをしている人物を調べさせる</p>
29. これが日本〔主題名／日本のよさを大切に〕〈伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度〉				
1 月	<p>◎郷土やわが国の文化と伝統を大切に、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。</p> <p>*わが国には、人々がこれまでに長い時間をかけて大切にはぐくんできた伝統文化や自然が多くあることがわかる。</p> <p>*わが国の伝統文化や自然を誇りに思い、守りたいと思う。</p> <p>*わが国や郷土のよさを受け継いでいこうとする意欲をもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 自分が思う日本のイメージを発表する。 資料『これが日本』を読んで、話し合う。 全体で話し合いをして考えたことをまとめる。 まとめた意見を全体で紹介し合う。 これからの学習について話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①社会科……………日本の歴史を学ぶことを通して、日本のありのままの姿をとらえさせる。 ②道徳の授業……資料『これが日本』を読んで、日本文化のよさを知るようにさせる。〔本時〕 ③国語などの教科学習……日本のよさを継続的に調べ、紹介し合わせる。 	<p>【導入】P164・P165を活用し、日本の伝統文化や自分のふるさどについて関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P166～P169を活用して、『これが日本』で学んだことを広げさせる。</p> <p>【発展①】P56～P59を活用して、伝統作法にこめられた心について考えを広げさせる。</p> <p>【発展②】P170～P173『人間をつくる道』を活用し、郷土や国を愛する視点を広げさせる。</p>
【私たちの道徳】人間をつくる道—剣道—〔主題名／郷土や国を愛する心をも〕〈伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度〉				
1 月				<p>【導入】P164・P165を活用し、日本の伝統や文化について関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P166～P169を活用し、『人間をつくる道』で学んだことをもとに、日本の伝統・文化のよさについて考えさせる。</p> <p>【発展】P174・P175を活用し、国家や社会の一員としての自覚をもたせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
30. 最後のひと葉〔主題名／忍びざるの心〕〈親切, 思いやり〉				
2月	<p>◎だれに対しても思いやりの心を持ち、自分のできる精いっぱいのことをしようとする。</p> <p>*スウヤベアマンの行為を生んだ「忍びざるの心」に感動することができる。</p> <p>*他者の不幸や生き方を見て、何とかしないではいられない心が「忍びざるの心」であることがわかり、その心は自分ももっていることを自覚する。</p> <p>*「忍びざるの心」をもって実践と反省を続けていこうとする。</p>	<p>1 動物にはない、人間の条件について話し合う。</p> <p>2 資料『最後のひと葉』を読んで、人間の条件のひとつとしての「忍びざるの心」について話し合う。</p> <p>3 「忍びざるの心」は『孟子』に出てくる言葉であり人間の条件であるという話を教師から聞く。</p> <p>4 「忍びざるの心」は、自分たちの生活の中にあるかについて話し合う。</p> <p>5 「忍びざるの心」についてさらにくわしく調べようと話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『最後のひと葉』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……「思いやりカード」を作り、それに記録させ、実践させていく。</p>	<p>【導入】P62・P63 を活用して、「思いやり」を伝える行為について関心をもたせる。</p> <p>【発展】P65 を活用して、「思いやり」の記録を残させる。</p>

【私たちの道徳】最後のおくり物〔主題名／相手の立場に立って親切に〕〈親切, 思いやり〉

2月				<p>【導入】P62・P63 を活用して、「思いやり」を伝える行為について関心をもたせる。</p> <p>【発展】P65 を活用して、「思いやり」の記録を残させる。</p>
----	--	--	--	--

重点主題

31 生命のメッセージ

32 命と向き合う人生

33 ともに前進し続ける —井上怜奈—

▶ 重点主題名／命かがやかせて〔自他の生命を尊重する〕

【重点主題のねらい】

◎かけがえのない命に気づき、自分の命を輝かせて生きようとする。

*命は受け継がれてきたもの（連続性）で、家族にとってもかけがえのない命であることに気づく。

*失われた命はもどらない（有限性）からこそ、どの命も大切であることに気づく。

*命は互いに支え合い高め合っていること（関係性）に気づき、自分の命も輝かせようとする。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
31. 生命のメッセージ【主題名／心の中で生き続ける命】〈生命の尊さ / 正直, 誠実〉				
2月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族を失った悲しみからかけがえのない命に気づき、受け継がれた自分の命を大切にしようとする。(連続性) ○失われても心の中に生き続ける命の存在を知って輝かせようという気持ちをもつ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「生命のメッセージ展」について知る。 2 資料『生命のメッセージ』を読み、悲しみを乗り越え、息子といっしょに生きようとする鈴木さんの気持ちを考える。 3 鈴木さんのメッセージから、自分の命を輝かせることについて考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>メッセージ展を開いたり、大学を目指したりする鈴木さんの姿から、命は家族にとってもかけがえのないものであり、失われても家族の心の中で生き続ける命があるのだと気づかせることができる。</p>	<p>【導入】 P98・P100・P101 を活用し、限りある命について関心をもたせる。</p> <p>【発展】 P104～P107『その思いを受けついで』を活用して、より深く命を大切にしようとする気持ちをもたせる。</p>
32. 命と向き合う人生【主題名／一つしかない命】〈生命の尊さ / 勤労, 公共の精神〉				
2月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動物の命を救おうとする坂本さんの姿から、命のかけがえのなさに気づく。(有限性) ○命を絶つ仕事から救う仕事へと転身した坂本さんの生き方から、自分の生き方を考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 捨てられるペットの数から、命を落としている動物たちの多さに気づく。 2 資料『命と向き合う人生』を読み、動物の命を救おうとする坂本さんの気持ちについて考える。 3 坂本さんの命と向き合う生き方について話し合い、自分の生き方を考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>動物の命を絶つ仕事をしながら、同時に救う活動もしていた坂本さんから、かけがえのない命に気づかせることができる。さらに獣医を目指す坂本さんの姿から、どう生きるかという生き方についても考えを深めることができる。</p>	<p>【導入】 P100・P101 を活用して、かかわりの中で育まれる命に関心をもたせる。</p> <p>【発展】 P102・P103 を活用して、自分の成長について振り返らせる。</p>
33. ともに前進し続ける ―井上怜奈―【主題名／支え合う命】〈生命の尊さ / 感謝〉				
2月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病気やけがに負けず、支え合いながら夢に向かって生きるすばらしさに心が動く。 ○人は互いにつながり、支え合って生きていることに気づき、自分もまわりの人を支えようとする気持ちをもつ。(関係性) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 井上選手のスケート選手としての経歴を知る。 2 資料『ともに前進し続ける ―井上怜奈―』を読んで、井上選手がスケートを続けた理由を考える。 3 自分も周囲の人に支えられていることを考える。 4 3時間の学習を振り返って、命について考えたことを話し合い、これからの自分の生き方を考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>病気やけがと闘いながらスケートを続けた井上選手と、彼女を支え続けたボルドウィン選手の姿から、命は互いに支え合っているのであり、それを高め合う気持ちがよりよく生きる力となるのだと気づかせることができる。さらに自分も命を輝かせるためにどうするかまで考えを深めることができる。</p>	<p>【導入】 P101・P102 を活用して、かかわりの中で育まれる命に関心をもたせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
【私たちの道徳】その思いを受けついで〔主題名／自他の生命を尊重して〕〈生命の尊さ〉				
2月				<p>【導入前】P102を活用し、家族に取材させる。</p> <p>【導入】P98を活用し、自分の命について関心をもたせる。</p> <p>【展開後段】P103を活用し、自分の成長をまとめさせる。</p> <p>【終末】P100・P101を活用し、『その思いを受けついで』で学んだことをもとに、生命についての考えを広げさせる。</p> <p>【発展】P108・P109『命でんでんこ』を活用して、「生命」についての考えを広げさせる。</p>
34. 大空に飛び立つ鳥〔主題名／ほんとうの自由とは〕〈善悪の判断，自律，自由と責任〉				
3月	<p>◎自由を大切にし、規律ある行動をとろうとする。</p> <p>*自由な生活をするためには、自分の心を律することが大切であることがわかる。</p> <p>*自分の心を律し、規律ある行動の中にあるほんとうの意味の自由がわかる。</p> <p>*自分の生活をふり返り、自由を大切にし、規律ある行動をしようとする。</p>	<p>1 きまりがあることで「自由ではない」と感じたことがないかを話し合う。</p> <p>2 資料『大空に飛び立つ鳥』を読んで、ほんとうの自由について考える。</p> <p>3 景子はどんなことをほんとうの自由だと考えたのかを想像する。</p> <p>4 自分の生活をふり返り、自分にとってほんとうの自由を見つける。</p>	<p>①道徳の授業……資料『大空に飛び立つ鳥』を読んで、ほんとうの自由について考えさせる。〔本時〕</p> <p>②学級活動……宿泊的行事などの機会に、「自由と規律」について考え、どんな行動をするのがよいかについて話し合い、実行させる。</p>	<p>【導入】P28・P29を活用して、自由とは何か意識をもたせる。</p> <p>【展開後段】P30・P31を活用して、『大空に飛び立つ鳥』で学んだことをもとに、本当の自由について考えを深めさせる。</p> <p>【発展】P32・P33を活用して、日常生活の見直しをさせる。</p>
【私たちの道徳】うばわれた自由〔主題名／自律的で責任ある行動を〕〈善悪の判断，自律，自由と責任〉				
3月				<p>【導入】P28・P29を活用して、自由とは何か意識をもたせる。</p> <p>【展開後段】P30・P31を活用して、『うばわれた自由』で学んだことをもとに、本当の自由について考えを深めさせる。</p> <p>【発展】P32・P33を活用して、日常生活の見直しをさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『私たちの道徳』との関連
35. 青の洞門〔主題名／清らかな心〕〈感動，畏敬の念〉				
3 月	<p>◎人間の心の美しさに感動し，常に美しい心を求めて生きていこうとする。</p> <p>*人間の心の美しさに感動することができる。</p> <p>*我執にとらわれた人間の心の醜さと純粹な清らかな心の美しさを比較して，美しい心のすばらしさがよくわかる。</p> <p>*人間は，美しい心にふれて，自分の醜い心を改めることができることがわかる。</p> <p>*常に美しい心をもって生活していこうとする。</p>	<p>1 江戸時代の敵討ちについて，教師の話聞く。</p> <p>2 資料『青の洞門』を読んで，話し合う。</p> <p>3 人間の心や行いを越えた人の話を教師から聞く。</p>	<p>①道徳の授業……資料『青の洞門』を読んで，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②読書の時間……清らかな心をもった人の話を探して読み，そのあらすじをカードにまとめさせる。</p>	<p>【発展】 P116・P117を活用して，人間の力をこえた話に関心をもたせ，調べさせる。</p>